

アドバイスルールの変更について

昨年度より話が出ていた、プレー中における監督からのアドバイスのルールについて、9/20の日本卓球協会の理事会にて、高体連主催の試合については、一般と同じルールを適応することとなりました。これは、高校生が全日本選手権の一般の部にも多数出場していることで、全日本選手権においてもジュニアはダメ、一般は良いというやりづらさや、世界ジュニア等、各種選考会においても、予選は日本の高体連ルールのため禁止、本戦は世界ルールのためありという2つのルールがあることに対して、選手・指導者から統一でやってほしいという要望から出たもので、全国高体連としても世界で戦える選手の育成に対して、高校生なら指導者の指示を聞くだけでなく自分で考えてプレーできるであろうと、数年前から検討していたことが認められたこととなります。全国高体連としては今年度3月の全国選抜大会新潟大会から施行、その予選については各ブロックや県の協会・連盟と相談して決定するように指示がありました。12月の関東選抜については、各都県の委員長と会議したところ、新ルールで行うことが決まっております。また、関東の各都県の予選についても、ほとんどの県がこのルールを適応して予選を行うこととなりました。栃木県としては、県の卓球連盟からの承諾をいただき、11月の県新人よりこのルールで大会を実施したいと思っておりますので、よろしくお願いします。

【概要】

1. 関係ルール

[2. 5 ペナルティー]

[2. 5. 1 アドバイス]

- 2. 5. 1. 3 競技者は、それによって競技が遅れさえしなければ(2. 4. 4. 1)、ラリー中を除いていつでもアドバイスを受けることができる。アドバイスを与えることを認められた者であっても、違法にアドバイスをした場合、主審はイエローカードを掲げ、これ以上そのような行為が続けば競技領域から遠ざけられることになる旨、そのものに対して警告をする。
- 2. 5. 1. 3. 1 高校生以下の大会では、競技者は、ゲームとゲームの間の休憩時間、あるいは認められた競技の中断時間にのみアドバイスを受けることができるが、練習時間終了時とマッチ開始の間はアドバイスを受けることはできない。アドバイスを与えることが認められた者であっても、このほかの時間にアドバイスをした場合、主審はイエローカードを掲げ、これ以上そのような行為が続けば競技領域から遠ざけられることになる旨、その者に警告する。

2. 適用を除外するルール

日本卓球ルール [2. 5. 1. 3. 1] を適用除外する。

3. 適用を除外する大会

栃木県高等学校体育連盟主催の大会

(関東高校県予選、全国高校県予選、県新人大会、全国選抜シングルス県予選会)

4. 適用除外開始

令和7年11月より実施(県新人大会より実施)

5. その他

- (1) 今回のアドバイスルールについては、高体連主催大会のみ変更になります。
栃木県卓球連盟主催大会については日本卓球ルール [2. 5. 1. 3. 1] を適用します。
なお、次年度以降の栃木県卓球連盟主催大会での適用除外は未定です。
- (2) 年度初めにアドバイスルールと一緒に検討をされていた[学校対抗の試合形式変更]については、令和8年度の全国高校総体以降の変更で検討がなされております。